

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

「頸動脈ステント留置術および頸動脈内膜剥離術後におけるペマフィブラートの脳心血管イベント予防効果についての検討」へご協力をお願い

—2013 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までに

当科において頸動脈ステント留置術もしくは頸動脈内膜剥離術を受けられた方へ

承認番号：2020-020「頭蓋内動脈狭窄症及び頸動脈狭窄症における

随時血中中性脂肪とプラーク進展の検討」に参加されている方へー

研究機関名 三重大学医学部附属病院

研究責任者 三重大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 教授 鈴木秀謙

研究分担者 研究分担者リスト 参照

個人情報管理者 三重大学医学部附属病院 脳神経外科 助教 岸本智之

1. 研究の概要

1) 研究の意義：我が国の頸動脈狭窄症診療において脂質異常症治療薬であるペマフィブラートの効果を検証し、ガイドラインの作成等、今後の発展に貢献すると考えられます。

2) 研究の目的：頸動脈狭窄症はアテローム動脈硬化により脳に行く途中の頸部で血液の通り道である血管が細くなった状態で、喫煙、高血圧、脂質異常症、糖尿病、高尿酸血症などの危険因子を有すると、悪化したり、治療を行っても再発しやすいことが知られています。以前より当科では頸動脈狭窄症治療において、非空腹時の血中中性脂肪を含む脂質プロファイルと、狭窄率の進行やプラーク性状の変化、脳梗塞・心筋梗塞の発生率を調べてきました。本研究では、外科的治療を受けられた患者さんについて、脂質異常症治療薬であるペマフィブラートの効果を検証し、より適切な治療戦略を明らかにします。

2. 研究の方法

1) 研究対象者：2013 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までに当科および共同研究機関において頸動脈ステント留置術もしくは頸動脈内膜剥離術を受けられた患者さん

2) 研究期間：2026 年 8 月 18 日（許可日）より 2029 年 2 月 1 日まで

3) 研究方法：

1. アテローム性動脈硬化による頸動脈狭窄症

2. 年齢：20 歳以上（初回登録の時点で）

3. 2013 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの間に当院に入院し、頸動脈狭窄症に対し頸動脈ス

テント留置術もしくは頸動脈内膜剥離術を受けた患者さん

上記1-3に当てはまる頸動脈狭窄症の患者さんにおいて、脂質プロフィールと狭窄率の進行や治療後の再狭窄の進行ならびに虚血性脳血管障害の発生率、心筋梗塞、死亡率、治療合併症の発生率、プラーク性状の比較を行い、診療録からの情報による3年間の観察研究を行っています（承認番号：H2020-020 頭蓋内動脈狭窄症及び頸動脈狭窄症における随時血中中性脂肪とプラーク進展の検討）。本研究では、その情報を用いてペマフィブラートの効果を検証するために追加の検討を行います。

4) 使用する試料の項目：この研究に使用する試料はありません。

5) 使用する情報の項目：初回入院時の頸動脈狭窄症の重症度、危険因子、その後の治療選択を収集し、その後、最終診察時まで、機能的予後、全イベント発生、治療合併症、画像所見を追跡します。この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。

① 患者情報：研究対象者識別コード、年齢、性別、治療側（右/左）、身長、体重、BMI（Body Mass Index）

② 既往歴・現症

・入院前6ヶ月以内（症候性）あるいはそれ以前の対象病変、あるいはそれ以外の病変に起因する虚血性脳血管障害の有無（ありの場合は、発症年月、日常生活自立度）

・併存疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常症、冠動脈疾患）、血液透析、喫煙習慣の有無

③ 入院時検査

血液検査所見

④ 脳血流シンチ（SPECT）所見

⑤ 頭蓋内動脈および頸動脈狭窄症の狭窄度およびプラーク性状評価、対側病変の評価

⑥ 患者に勧めた治療

⑦ 実際に施行した治療

6) 利用又は提供を開始する予定日：2026年8月18日（許可日）

7) 情報の保存：

研究対象者の個人情報（個人情報）は個人情報を特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報（いわゆる対応表）は個人情報管理者が保管します。個人情報を特定できないように加工した情報は電子情報として保存します。この研究で得られたデータは適切に保管し、研究終了後5年または研究発表後5年のいずれか遅い日まで保管した後、個人情報が特定できないまま廃棄します。

また、保管される既存試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究の研究計画書等を倫理審査委員会に付議し、承認されてから利用します。また、その際は情報公開文書を作成し、当院のホームページ「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開」(<https://mie.bvits.com/rinri/publish.aspx>)で公開したうえで、研究対象者が研究参加を拒否する機会を保障します。他機関の研究者に既存試料・情報を提供する場合は、対応表は提供せず、個人の識別ができないよう措置を行います。提供先が外国の研

究機関や外国企業の場合には、その国でのプライバシー保護規定が定められていることを確認した上で、患者さん個人を特定できる情報を含まない形にして提供します。

また、近年、データの正確性を見るために、論文の出版社からデータの提出を求められることがあります。また、全世界の研究者が、論文のデータにアクセスできるようにし、研究を行うことがあります（データシェアリングといいます。）。両者とも、個人を特定できなくした情報しか提供しませんので、これにより個人を特定されることはありません。

8) 情報の保護：

研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。試料・情報の管理の責任者は研究責任者です。

9) 倫理審査：

三重大学医学部附属病院または医学部・医学系研究科内で行われる全ての臨床研究は、研究に参加される方の人権や安全性の保護および科学性について問題がないかを三重大学医学部附属病院 医学系研究倫理審査委員会で審査され、その意見をもとに病院長または研究科長が許可したもののみ実施されます。本研究は、三重大学医学部附属病院 医学系研究倫理審査委員会において審査を受け、病院長または研究科長の許可を得ております。

10) 研究資金源及び利益相反：

本研究は、興和株式会社との共同研究であり、共同研究契約に基づいて研究資金の提供を受けます。また、本研究では興和株式会社の医薬品が研究対象となっており、研究責任者の鈴木医師は同社から講演料を受領しています。本利益相反状態が本研究の計画・実施、研究の結果および解釈に影響を及ぼすことは無く、また研究の実施が研究対象者の権利・利益を損ねることはありません。ただし、本研究で得られたデータ及び解析結果に関しては興和株式会社に提供します。本研究を行うにあたり、研究責任者および研究担当者は、所属機関の利益相反委員会等に必要事項を申告し、審査を受け、承認を得ています。

11) 研究計画書および個人情報の開示：

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてお分かりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報かわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

12) 研究への使用を希望されない場合：

あなたの試料・情報が 研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様
に不利益が生じることはありません。あなたが研究を拒否された場合、これまで取得したデータは全て
削除します。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータ
については、削除できないことがありますことをご了承ください。拒否される場合は、お早めにご連絡
をお願い致します。

13) 代表研究機関

代表研究機関名・研究代表者：三重大学医学部附属病院	鈴木秀謙
共同研究機関名・研究責任者：桑名市総合医療センター	梅田靖之
三重県立総合医療センター	亀井裕介
鈴鹿回生病院	荒木朋浩
鈴鹿中央総合病院	清水重利
三重中央医療センター	石田藤麿
松阪中央総合病院	津田和彦
済生会松阪総合病院	畑崎聖二
伊勢赤十字病院	宮 史卓

<問い合わせ・連絡先>

研究事務局

担当者：三重大学医学部附属病院 脳神経外科 リサーチアソシエイト 金丸英樹

電話：059-232-1111（平日：9 時 30 分～17 時 00 分） ファックス：059-231-5212

当院お問い合わせ先

三重中央医療センター 脳神経外科 石田 藤麿

電話：059-259-1211（代表）